

聴覚基礎理論談話会

2004年2月21日

於 生駒芸術会館

今回の聴覚基礎理論談話会では昨年に引き続き、Willam Yost著Fundamentals of Hearing: An introduction (2000, Academic Press)に基づいて、聴覚の基礎過程を学ぶために便利な教材の提供と基本知識の提供を目指して発表を行います。今回、紹介する章とその担当者のリストは以下のようになっています。今回は昨年この談話会に聴衆として参加してくれて、その後に月例の勉強会にも顔を出してくれた「新規」メンバーの人たちが10章以降を担当してくれています。

昨年度は各章の内容をどちらかという淡々と紹介していきましたが、今回は各担当がそれぞれの章から「目玉」になる題材を採り上げて、PowerPointなどの機能を活かした効果的な説明を試みます。その為に各章の具体的な内容については配付される資料に譲ります。実際に、このような教材で聴覚を学ぶ立場になった入門者の目になって、質問、コメントなどをしていただけると幸いです。

- Chap. 7 Structure of the Inner Ear and Its Mechanical Response
栗栖清浩 TOA 株式会社
- Chap. 8 Peripheral Auditory Nervous System and Hair Cells
高野佐代子 ATR-HIS
- Chap. 9 The Neural Response and the Auditory Code
白土保 CRL
- Chap. 10. Auditory Sensitivity
中川誠司 産業技術総合研究所 ライフエレクトロニクス研究ラボ
- Chap. 11. Masking
藤坂洋一 産業技術総合研究所 ライフエレクトロニクス研究ラボ
- Chap. 12. Sound Localization and Binaural Hearing
岡本洋輔 産業技術総合研究所 ライフエレクトロニクス研究ラボ
- Chap. 13. Loudness and Pitch
添田喜治 産業技術総合研究所 ライフエレクトロニクス研究ラボ

この談話会は年に1回のこのような公開の研究発表会以外に、月例の勉強会を行っております。月例会のご案内は一般には行っておりませんが、こちらに対しても関心のある方は以下の連絡先までご連絡下さい。

津崎実(ATR)

minoru.tsuzaki@atr.jp